

# 荷物運送契約書(案)

兵庫県（以下「甲」という。）と（以下「乙」という。）とは、原書類等荷物運送業務について次のとおり契約を締結する。

## （契約期間）

第1条 契約の期間は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までとする。

## （業務内容）

第2条 原書類仕分け後の運送にかかる業務とする。

2 運送の区間、場所は別表のとおりとする。

3 乙の運送する荷物は甲の託送用トランク及び託送中に損傷の心配のないよう梱包されたものとする。

## （運送料金）

第3条 運送料金は、荷物1個あたりの運送料金に運送個数を乗じて得た額とする。

2 乙は、前項に定める運送料金に100分の10を乗じて得た消費税及び地方消費税相当額を加算して甲に請求する。ただし、計算した金額に1円未満の端数がある時は、これを切り捨てるものとする。

## （運送料金の請求及び支払）

第4条 乙は、毎月荷物運送業務完了後、前条に規定する運送料金について、甲に請求するものとする。

2 甲は、乙の請求により請求書を受理した日の翌日から起算して30日以内に運送料金を支払うものとする。

## （契約保証金）

第5条 契約保証金は、契約金額（単価×年間発注予定数量×1.10）の100分の10以上とする。ただし、乙が保険会社との間に甲を被保険者とする履行保証保険契約を締結したときは、これを免除する。

## （秘密の保持）

第6条 乙は、甲の提示する別紙個人情報取扱特記事項を遵守し、この契約による業務の履行により知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

## （個人情報の保護）

第7条 乙は、業務を処理するための個人情報の取扱いについては、別記「個人情報取扱特記事項」を守らなければならない。

2 甲は、乙又は乙の委託業務従事者が前項の特記事項の規定に違反して甲に損害を与えたときは、損害の賠償を請求できるものとする。

3 前項は、次条により再委託し、第三者が違反した場合にも適用する。

## （業務の再委託）

第8条 乙は、委託事務の全部又は主体的部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わ

せてはならない。

- 2 前項における主体的部分とは、委託事務における総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分をいう。
- 3 乙は、委託事務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせ（以下「再委託等」という。）てはならない。ただし、あらかじめ再委託等の相手方の住所、氏名及び再委託等を行う業務の範囲等（以下「再委託等に関する事項」という。）を記載した再委託の必要性がわかる書面を甲に提出し、甲の書面による承認を得た場合は、乙は、甲が承認した範囲の業務を第三者（以下「承認を得た第三者」という。）に再委託等することができる。
- 4 前項ただし書きにより甲が承認した場合には、承認を得た第三者も、前項の義務を負うものとし、乙は、当該第三者に前項の義務を遵守させるために必要な措置をとらなければならない。その後に承認を得た第三者についても、同様とする。
- 5 乙は、委託事務の一部を再委託等先から、さらに第三者に再委託等させる場合（3次委託等）には、甲に対し、当該第三者の再委託等に関する事項を記載した書面を提出し、甲の書面による承認を受けなければならない。なお、4次委託等以降も同様とする。
- 6 再委託等する相手方の変更等を行おうとする場合には、乙は、改めて再委託等に関する事項が記載された書面を提出し、甲の承認を受けなければならない。
- 7 乙は、委託事務の一部を再委託等する場合には、再委託等した業務に伴う承認を得た第三者の行為について、甲に対し全ての責任を負うものとする。

#### （調査等）

- 第9条 甲は、乙の委託事務の処理状況について、随時に、調査し、若しくは必要な報告を求め、又は委託事務の処理に関して乙に適正な履行を求めることができる。
- 2 乙は、特別な理由がない限り、前項の調査又は報告に応じることとし、この契約の終了後も、この契約が終了する日（以下「契約終了日」という。）の属する県の会計年度を含む6会計年度の間は、同様とする。

#### （損害賠償責任）

- 第10条 乙は、次の各号に掲げる事由により損害が生じたときは、その損害を被害者に賠償しなければならない。この場合における乙の賠償額は、甲乙協議の上定める。
- (1) 乙の責に帰すべき事由により甲又は第三者に損害を与えたとき。
  - (2) 第12条、第12条の2及び第13条の定めにより、この契約が解除された場合において、乙が甲に損害を与えたとき。

- 第11条 甲は、乙が関係法令若しくは契約事項に違反するとき又は第9条第1項の規定による調査等に誠実に応じないときは、その旨及び乙の氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）その他甲が必要と認める事項を公表することができる。
- 2 前項の公表は、当該事案が悪質又は重大である場合その他甲が必要と認める場合において実施するものとする。
  - 3 前2項の規定は、この契約の終了後も、契約終了日の属する県の会計年度を含む6会計年度の間は、適用があるものとする。

#### （解除等）

- 第12条 甲は、乙が次の各号の一に該当するときは、相当の期間を定めてその履行の催告をし、その期間内に履行がないときは、この契約を解除することができる。ただし、その期間を経過した時における債務の不履行がこの契約及び取引上の社会通念に照らして軽微であるときは、この限りでない。

- (1) 正当な理由なく、契約の履行着手期限を過ぎても履行に着手しないとき。
  - (2) 履行期限内に契約を履行しないとき、又は契約を履行する見込みがないと明らかに認められるとき。
  - (3) 乙又はその代理人その他の使用人が監督又は検査に際し、職務執行を妨げたとき。
- 第12条の2 甲は、乙が次の各号の一に該当するときは、直ちにこの契約を解除することができる。

- (1) 乙又は乙が代理人、若しくは入札代理人として使用していた者が、この契約の入札に関して地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第2項第2号に該当すると認められるとき。
- (2) 乙又はその代理人が、関係法令又は契約事項に違反し、そのため契約の目的を達することができない、又は契約を継続することが適当でないと認められるとき。

第12条の3 甲は、第12条各号又は前条各号に規定する場合が甲の責に帰すべき理由によるものであるときは、前2条の規定による契約の解除をすることができない。

- 2 前2条の規定によりこの契約が解除された場合、乙は契約金額（単価×年間発注予定数量×1.10）の10分の1に相当する額の違約金を支払わなければならない。ただし、この契約が解除された場合が、この契約及び取引上の社会通念に照らして乙の責に帰することができない理由によるものであるときは、この限りでない。
- 3 前項の場合において、第5条の規定により契約保証金の納付又はこれに代わる担保の提供が行われているときは、甲は、当該契約保証金又は担保をもって違約金に充当することができる。
- 4 前2条の規定による解除に伴い、乙に損害が生じたとしても、乙は、甲に対してその損害の賠償を請求することはできない。
- 5 甲は、この契約を解除しようとするときは、その理由を記載した書面により、乙に通知するものとする。
- 6 乙は、この契約が解除された場合、甲の指示に従い、委託に関する書類を甲に引き継がなければならない。

（暴力団等の排除）

第13条 甲は、第15条第1号の意見を聴いた結果、乙が次の各号のいずれかに該当する者（以下「暴力団等」という。）であると判明したとき、又は第8条に規定する第三者が暴力団等であると知りながら次条の規定に違反したときは、特別の事情がある場合を除き、契約を解除するものとする。

- (1) 兵庫県暴力団排除条例（平成22年兵庫県条例第35号）第2条第1号に規定する暴力団及び第3号に規定する暴力団員
- (2) 兵庫県暴力団排除条例施行規則（平成23年公安委員会規則第2号）第2条各号に規定する暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者

2 前条第2項から第6項までの規定は、前項の規定による契約の解除に準用する。

第14条 乙は、この契約の履行にかかる業務の一部を第三者に行わせようとする場合は、暴力団等を受託者としてはならない。

2 乙は、この契約にかかる業務の一部を第三者に行わせた場合において、その第三者が暴力団等であると判明したときは、当該受託者との契約を解除しなければならない。

第15条 甲は、必要に応じ、次の各号に掲げる措置を講じることができるものとする。

- (1) 乙が暴力団等であるか否かについて兵庫県警察本部長に意見を聴くこと。
- (2) 前号の意見の聴取により得た情報を、他の契約において暴力団等を排除するための

措置を講ずるために利用し、又は兵庫県公営企業管理者及び兵庫県病院事業管理者に提供すること。

第16条 乙は、この契約の履行に当たり、暴力団等から業務の妨害その他不当な要求を受けたときは、甲にその旨を報告するとともに、警察に届け出て、その捜査等に協力しなければならない。また、この契約の履行にかかる業務の一部を第三者に行わせた場合において、その第三者が不当介入を受けた場合も同様とする。

(適正な労働条件の確保)

第17条 乙は、この契約における労働者の適正な労働条件を確保するため、別記「適正な労働条件の確保に関する特記事項」を守らなければならない。

(荷物の損傷及び紛失)

第18条 乙は、荷物の運送について細心の注意をもって、その損傷及び紛失等のないよう万全の措置を講じ、万一事故のあった場合は、甲乙相互に誠意をもって協議の上、円満な解決に努めるものとする。

(履行遅滞の場合における違約金)

第19条 甲は、乙がその責に帰することができない事由による場合を除き、指定された日までに搬入できない場合は、違約金を徴する。

2 前項の違約金は、通常支払うべき運送料金に、遅滞日数に応じ年10.75パーセントの割合を乗じて計算した額とする。

(遅延利息)

第20条 乙は、第12条の3第2項又は前条第2項の規定による違約金を甲が指定する期限までに納付できない場合は当該期限の翌日から納付の日までの日数に応じ、当該未納額につき年3.0パーセントの割合で計算した遅延利息を甲に納付しなければならない。

(生成AIの利用に関する保証)

第21条 乙は、委託事務を処理するに当たり、生成AI（人工的な方法により学習、推論、判断等の知的機能を備え、かつ、質問その他のコンピュータに対する入力情報に応じて当該知的機能の活用により得られた文章、画像、音声等の結果を自動的に出力するよう作成されたプログラム及び当該プログラムと連携して動作するプログラムをいう。以下同じ。）を利用する場合には、甲に対し、委託事務の処理の過程において第三者の知的財産権その他一切の権利を侵害しておらず、成果物が第三者の知的財産権その他一切の権利を侵害していないことを保証する。

(生成AIへの入力及び出力結果)

第22条 乙は、委託事務を処理するに当たり、生成AIを利用する場合には、委託事務の処理に関して知り得た秘密及び個人情報を生成AIに入力してはならず、生成AIの出力結果を確認して修正することなく成果物として甲に提出してはならない。

(契約内容の変更)

第23条 本契約の内容については、契約期間中であっても、甲乙協議の上変更することができる。

(管轄裁判所)

第24条 この契約に係る訴訟の提起については、甲の事務所の所在地を管轄する日本国の裁判所をもって合意による専属的管轄裁判所とする。

(補則)

第25条 この契約について疑義が生じたとき又はこの契約に定めのない事項については、甲の財務規則(昭和39年兵庫県規則第31号)及び乙の国土交通大臣の許可を受けた運送約款によるほか、甲乙協議の上定めるものとする。

(帳簿等の備付け)

第26条 乙は、当該委託事務に係る収入及び支出の状況を明らかにした帳簿を備え、かつ、収入及び支出について証拠書類を整理し、この契約の終了後も、契約終了日の属する県の会計年度を含む6会計年度の間は、これらの書類を保存しなければならない。

この契約の証として、甲と乙とは、本書を2通作成し、それぞれ記名押印の上、その1通を保有する。

令和7年4月1日

甲 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

兵 庫 県

兵庫県知事 齋 藤 元 彦

乙

# 誓 約 書

兵庫県暴力団排除条例（平成22年条例第35号。以下「条例」という。）を遵守し、暴力団排除に協力するため、下記のとおり誓約する。

## 記

- 1 条例第2条第1号に規定する暴力団、又は第3号に規定する暴力団員に該当しないこと
- 2 兵庫県暴力団排除条例施行規則（平成23年公安委員会規則第2号。）第2条各号に規定する暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者に該当しないこと
- 3 契約の履行に係る業務の一部を第三者に行わせようとする場合にあっては、上記1又は2に該当する者をその受託者とししないこと
- 4 上記1、2及び3に違反したときには、本契約の解除、違約金の請求その他県が行う一切の措置について異議を唱えないこと

令和7年4月1日

兵 庫 県 知 事 様

所 在 地

名 称

代表者職氏名

電 話

電 子 メ ー ル

# 誓 約 書

下記 1 の契約（以下「本契約」という。）に基づく業務に従事する労働者の適正な労働条件を確保するため、下記 2 の事項を誓約する。

## 記

### 1 契約名

原書類等荷物運送業務

### 2 誓約事項

- (1) 本契約に基づく業務に関わっている労働者に対し最低賃金額以上の賃金の支払を行うこと、及び別表に掲げる労働関係法令を遵守すること。
- (2) 本契約に基づく業務に関わっている労働者に対する賃金の支払について次に該当するときは、速やかに県へ報告を行うこと。
  - ア 県から最低賃金額以上の賃金の支払を行うよう指導を受けその報告を求められたとき。
  - イ 労働基準監督署から最低賃金法の違反について行政指導を受けたとき。
  - ウ 労働基準監督署に上記イの是正の報告を行ったとき。
- (3) 本契約に基づく業務の一部を他の者に行わせようとする場合及び派遣労働者を関わらせようとする場合にあっては、最低賃金額以上の賃金の支払及び労働関係法令の遵守を誓約した者を受託者とし、その契約金額（同一の者と複数の契約を締結した場合には、その合計金額。）が 200 万円を超えるときは、この誓約書に準ずるものとして別に県が定める誓約書を提出させ、その写しを県に提出すること。
- (4) 受託者が労働関係法令を遵守していないと認めるときは、当該受託者に対し、指導その他の労働者の適正な労働条件を確保するために必要な措置を講ずること。
- (5) 本契約に基づく業務において、次のいずれかに該当するときに県が行う本契約の解除、違約金の請求その他県が行う一切の措置について異議を唱えないこと。
  - ア 県に対し、上記(2)の報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。
  - イ 最低賃金法第4条第1項の規定に違反したとして、検察官に送致されたとき。

令和 7 年 4 月 1 日

兵 庫 県 知 事 様

所 在 地

名 称

代表者職氏名

電 話

電 子 メ ー ル

別表（誓約事項(1)関係）

労働関係法令

- （１）労働基準法（昭和 22 年法律第 49 号）
- （２）労働組合法（昭和 24 年法律第 174 号）
- （３）最低賃金法（昭和 34 年法律第 137 号）
- （４）労働安全衛生法（昭和 47 年法律第 57 号）
- （５）雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（昭和 47 年法律第 113 号）
- （６）労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和 60 年法律第 88 号）
- （７）短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律（平成 5 年法律第 76 号）
- （８）労働契約法（平成 19 年法律第 128 号）
- （９）健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）
- （10）厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）
- （11）雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）



## (輸送場所)

事 務 所 名	住 所	電 話
神戸県税事務所	神戸市長田区二葉町5丁目1-32	078-647-9158
西宮県税事務所	西宮市櫛塚町2-28	0798-39-6113
伊丹県税事務所	伊丹市千僧1-51	072-785-7451
加古川県税事務所	加古川市加古川町寺家町天神木97-1	079-421-9271
加東県税事務所	加東市社字西柿1075-2	0795-42-9331
姫路県税事務所	姫路市北条1-98	079-281-9104
龍野県税事務所	たつの市龍野町富永字田井屋畑1311-3	0791-63-5130
豊岡県税事務所	豊岡市幸町7-11	0796-26-3628
丹波県税事務所	丹波市柏原町柏原688	0795-73-3746
洲本県税事務所	洲本市塩屋2-4-5	0799-26-2032
兵庫県自動車会館内 神戸県税事務所	神戸市東灘区魚崎浜町33	078-441-0305
軽自動車検査協会内 神戸県税事務所	神戸市東灘区御影本町1-5-5 (兵庫県軽自動車会館内)	078-822-6050
姫路自動車会館内 姫路県税事務所	姫路市飾磨区中島福路町3323	079-233-8260
(株)KCSソリューションズ 神戸BPOセンター	神戸市中央区多聞通3-3-9 神戸楠公前ビル6F	078-386-0111
(株)KCSソリューションズ 姫路BPOセンター	姫路市東延末2-154-2 さくらケーシーエス姫路ビル7F	079-285-2356

## (輸送料金表)

単位:円

輸 送 区 間		5kg未満	5kg以上 10kg未満	10kg以上
(株)KCSソリューションズ 神戸BPOセンター	⇔ 神戸県税事務所			
	⇔ 西宮県税事務所			
	⇔ 伊丹県税事務所			
	⇔ 加古川県税事務所			
	⇔ 加東県税事務所			
	⇔ 姫路県税事務所			
	⇔ 龍野県税事務所			
	⇔ 豊岡県税事務所			
	⇔ 丹波県税事務所			
	⇔ 洲本県税事務所			
	⇔ 兵庫県自動車会館内 神戸県税事務所			
	⇔ 軽自動車検査協会内 神戸県税事務所			
(株)KCSソリューションズ 姫路BPOセンター	⇔ 姫路県税事務所			
	⇔ 姫路自動車会館内 姫路県税事務所			
神戸県税事務所	⇔ 兵庫県自動車会館内 神戸県税事務所			
	⇔ 兵庫県自動車会館内 神戸県税事務所(速達)			
	⇔ 軽自動車検査協会内 神戸県税事務所			
姫路県税事務所	⇔ 姫路自動車会館内 姫路県税事務所			
(株)KCSソリューションズ 神戸BPOセンター	← 兵庫県自動車会館内 神戸県税事務所(特別対応)			
(株)KCSソリューションズ 姫路BPOセンター	← 姫路自動車会館内 姫路県税事務所(特別対応)			